

# 学校に戻れない子どもたち



神奈川県ユニセフ協会



男女共同参画センター横浜

新型コロナウイルス感染症の流行により、世界の子どもたちの  
対面授業で学び続ける機会が失われました。  
この影響は現在もなお、続いています。

住む国や環境、さらに性別によって、影響の程度は様々です。  
神奈川県ユニセフ協会作成のパネルとともに本を展示・貸出します。  
”知ること”がすべてへの第一歩と信じて。

(請求番号:無印はフォーラム、北はアートフォーラムあざみ野、南はフォーラム南太田所蔵です。どの本も3館で貸し出しできます。)

## 子どもたちの権利を考える

### 子どもの権利を考える

みずをくむプリンセス	スーザン・ヴァーデ(文)、 ピーター・H・レイノルズ (絵)、さくまゆみこ(訳)	さ・え・ら書房	2020	Pミ
ビジュアル版 子どもの権利宣言	シェーン出版社(編) 遠藤ゆかり(訳)	創元社	2018	小A380 コ
チェンジの扉 児童労働に向き合って気づいたこと	認定NPO法人ACE 安田菜津紀	集英社	2018	A380チ
子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート 世界から児童労働をなくす方法	白木朋子	合同出版	2015	A380コ
世界で働く子どもたち もっと知りたい	末光有子	文芸社	2010	小A380 モ
わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。 児童労働者とよばれる2億1800万人の子どもたち	岩附由香、白木朋子	合同出版	2007	A380ワ
こどもの権利を買わないで ブンとミーチャのものがたり	大久保真紀(文)、森野さか な(絵)、横田洋三(監修)	自由国民社	2000	小A380 コ

### とりわけ、女の子だから直面する危機について \*イエメンなど

わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。 未来をうばわれる2億人の女の子たち	ブランジャパン 他	合同出版	2014	A380ワ
世界女の白書	電通ギャララボ(著)、国際協 力NGOジョイセフ(監修・協 力)	木楽舎	2013	A31セ
Because I am a Girl (わたしは女の子だから)	ティム・ブッチャー他 (著)、角田光代(訳)	英治出版	2012	D232ヒ*
貧しい国で女の子として生きるということ 開発途上国からの5つの物語	遊タイム出版	遊タイム出版	2010	A380マ
わたしはノジュオド、10歳で離婚	ノジュオド・アリ 他	河出書房新社	2010	A380ワ

### 月経衛生管理

書名	著者	出版社	出版年	請求No.
月経の人類学 女子生徒の「生理」と開発支援	杉田映理・新本万里子(編)	世界思想社	2022	G222ケ*
月経と犯罪 “生理”はどう語られてきたか	田中ひかる	平凡社	2020	G222ケ*
月経のはなし 歴史・行動・メカニズム	武谷雄二	中央公論新社	2012	G222ケ*

# 学校に戻れない子どもたち

## 子どもたちを取り巻く厳しい状況

### ～シリアを知る～

書名	著者	出版社	出版年	請求No.
シリアで猫を救う	アラール・アルジャリール ダイアナ・ダーク	講談社	2020	F312シ
人間の土地へ	小松由佳	集英社インターナショナル	2020	A312ニ (北)
バタフライ 17歳のシリア難民少女がリオ五輪で泳ぐまで	ユスラ・マルディニ、ジョ ジー・ルブロンド(著)、 土屋京子(訳)	合同出版	2019	F34ハ
わたしは13歳、シリア難民。 故郷が戦場になった子どもたち	国境なき子どもたち	合同出版	2018	F34ワ
バナの戦争 ツイートで世界を変えた7歳少女の物語	バナ・アベド(著)、金井 真弓(訳)	飛鳥新社	2017	A312ハ
君とまた、あの場所へ シリア難民の明日	安田菜津紀	新潮社	2016	D2414キ

### ～アフガニスタンを知る～

7年目のランドセル ランドセルは海を越えて、アフガニスタンで始まる 新学期	内堀タケシ	国土社	2020	小A312ナ
ペンとミシンとヴァイオリン	清末愛砂	寿郎社	2020	A312ペ
アフガン民衆とともに	マラライ・ジョヤ(著)、 横田三郎(訳)	耕文社	2012	A312ア
わたしが明日殺されたら	フォージア・クーフィ (著)、福田素子(訳)	徳間書店	2011	f2ク
ソルハ	常木蓬生	あかね書房	2010	ハ
アフガニスタン母子診療所	梶原容子	白水社	2008	A312ア
カブールの本屋 アフガニスタンのある家族の物語	アスネ・セイエルスタッド (著)、江川紹子(訳)	イースト・プレス	2005	A312カ

### ～ウクライナを知る～

ズラータ、16歳の日記 ウクライナから来た少女	ズラータ・イヴァシコワ (文・絵)	世界文化ブックス	2022	A33ズ
戦争日記 鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々	オリガ・グレベンニク(著)、 奈倉有里(ロシア語監修)、渡 辺麻土香・チョン ソウン (訳)	河出書房新社	2022	A313セ
中学生から知りたいウクライナのこと	小山哲・藤原辰史	ミシマ社	2022	F313ウ

## 声をあげる、世界を変える

### 危機下の暮らしを伝えるひとたち

書名	著者	出版社	出版年	請求No.
トットちゃんと訪ねた子どもたち 撮り続けて三十五年	田沼武能	岩波書店	2021	A380f (北)
哲さんの声が聞こえる 中村哲医師が見たアフガンの光	加藤登紀子	合同出版	2021	f1ナ
危機の現場に立つ	中満泉	講談社	2017	小F10キ
写真で伝える仕事 世界の子どもたちと向き合って	安田菜津紀	日本写真企画	2017	B222シ
山本美香が伝えたかったこと	山本美香(著)、ジャパン プレス 山梨日日新聞社 (編)	山梨日日新聞社	2014	E16ヤ
妹は3歳、村にお医者さんがいてくれたなら。 わたしたちが900万人の人びとに医療を届けるわけ	国境なき医師団日本	合同出版	2013	F212イ
山本美香という生き方	山本美香(著)、日本テレ ビ(編)	日本テレビ報道網	2012	f1ヤ
戦争を取材する 子どもたちは何を体験したのか	山本美香	講談社	2011	小A380セ (南)
アジア×カメラ 「正解」のない旅へ	安田菜津紀・幸田大地・白 潟禎(著)	第三書館	2011	D2414ア
人は愛するに足り、真心は信ずるに足る アフガンとの約束	中村哲(著)、澤地久枝 (聞き手)	岩波書店	2010	F21ヒ (北)

### 声をあげ、世界を変える子どもたち

声をあげて、世界を変えよう！ よりよい未来のためのU30の言葉	アドーラ・スヴィタク (著)、カミラ・ピンヘイ ロ(イラスト)、長尾莉紗 (訳)	DU BOOKS	2021	A31コ
希望、きこえる？ ルワンダのラジオに子どもの歌が流れた日	榮谷明子	汐文社	2020	小A314キ
わたしは女の子だから 世界を変える夢をあきらめない子どもたち	ローズマリー・マカー ニー、ジェン・オール バー、プラン・インターナ ショナル(文)、西田佳子 (訳)	西村書店東京出版 編集部	2019	小A31ワ
自分を信じた100人の男の子の物語 世界の変え方はひとつじゃない	ベン・ブルックス(文)、 クイントン・ウインター (絵)、芹澤恵・高里ひろ (訳)	河出書房新社	2019	小A264ジ
世界を変えた100人の女の子の物語	エレナ・ファヴィッリ、フ ランチェスカ・カヴァッロ (文)、芹澤恵、高里ひろ (訳)	河出書房新社	2018	小A264セ
世界にひかりをともした13人の女の子の物語	チエルシー・クリントン (作)、アレグザンドラ・ボイ ガー(絵)、西田佳子(訳)	潮出版社	2018	小A264セ
マララのまほうのえんぴつ	マララ・ユスフザイ(作)、 キャラスケット(絵)、 木坂涼(訳)	ポプラ社	2017	Pマ (北)
マララさんこんにちは 世界でいちばん勇敢な少女へ	ローズマリー・マカーニー (文)、西田佳子(訳)	西村書店東京出版 編集部	2014	小A380マ

### 世界を変えたい人のための「なるには」本

少女のための海外の話	三砂ちづる	ミツイパブリッシ ング	2020	A374シ
青年海外協力隊員なるには	益田美樹	ペリかん社	2020	B222ナ
国際公務員なるには	横山和子	ペリかん社	2020	B222ナ
「国境なき医師団」になろう！	いとう せいこう	講談社	2019	B222コ
世界で活躍する仕事100	三菱UFJリサーチ&コンサル ティング	東洋経済新報社	2018	B211セ
東南アジアで働く	横山和子	ペリかん社	2017	B222ナ
社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門	駒崎弘樹	PHP研究所	2016	B24シ
社会貢献でメシを食う。	米倉誠一郎(監修)、竹井 善昭(著)	ダイヤモンド社	2014	B24シ
社会起業家になりたいと思ったら読む本 ～未来に何ができるのか、いまなぜ必要なのか～	デービッド・ボーンステイ ン、スーザン・デイヴィス (著)、井上英之(監 修)、有賀裕子(訳)	ダイヤモンド社	2012	B24シ